様式３(2020.08改)

作成日　令和　4年　4月 26日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390300396
事業所名	グループホーム彩りの泉

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	今年4月に町内会に加入予定としている。区長や民生委員に運営推進会議の資料を届ける際に町内の情報を得たり、施設の運営状況を伝えたりして地域との繋がりを深めるように努めている。現在は町内の行事も中止となっている。入居者は日々の散歩や公園に出かけた際には行きかう人と挨拶を交わし、普段から地域の方との触れ合いを大切にしている。ボランティアの受け入れなどは新型コロナの感染状況を確認し感染対策をしながら臨機応変に対応し受け入れをしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	コロナ禍により引き続き2か月に1回、書面開催としている。区長、民生委員、いきいき支援センターの職員には活動報告書を持参し施設の状況を報告している。持参した際に頂いた意見や要望等は今後のサービスの向上に活かせるよう努めている。入居者家族には、ホーム便り等と合わせて郵送している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	コロナ禍により役所の情報や案内などはメールやファックス等で情報交換を行っている。緊急性のある内容については電話で問い合わせたり、必要な書類等は郵送している。必要に応じて事業所の実情やケアサービスの取り組みなどの情報交換をし、得た情報はケアや運営に役立てている。研修の機会が少ないため研修方法を模索している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞いている。意見や要望などは、申し送りノート等に記録して情報を共有し運営に反映させている。家族とはラインでのやり取りやビデオ通話を利用して施設の様子を知らせたり、入居者が家族と話をしたり、着替え等の持参時や面会時に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立てている。「彩の泉便り」を毎月発行し、入居者の日ごろの様子を写真やコメントを添え家族に安心を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議については、コロナ禍また、管理の交代などはあったが書面での開催をし、地域の委員には会議録を持参し、意見や助言などを聞くように努めている。家族には、ホーム便り等と合わせて郵送している。訪問調査時には3ユニット稼働となり、今後コロナ状況を確認しながら3ユニットの良さを生かし、ユニットを超えた交流や生け花や編み物、お化粧、将棋、囲碁、工作などの同じ趣味を通して活動できるようにしていく方向にある。外出制限が続く中、散歩に出る時間や気温などを考慮して毎日散歩したり、プランターの花の水やりや玄関前の広場で花火やアイスを食べるなど四季の風情や風を感じられるよう努めている。季節の食材や希望のメニューを取り入たり、郷土を生かした家庭料理を毎食手作りしている。また、テイクアウトや弁当の注文をしたりして外食の雰囲気を楽しんでいる。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×	○									